

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年7月31日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社免疫生物研究所

コード番号 4570 URL <http://www.ibl-japan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清藤 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長

(氏名) 中川 正人

TEL 0274-22-2889

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	195	△1.3	△11	—	57	—	51	—
24年3月期第1四半期	197	△18.3	△36	—	△35	—	△45	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	82.98	—
24年3月期第1四半期	△73.18	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,315	—	2,144	—	—	92.6
24年3月期	2,289	—	2,092	—	—	91.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,144百万円 24年3月期 2,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,050	14.7	150	537.9	200	265.3	194	353.0	314.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の業績予想は、「中期経営計画」をベースに作成しており、その達成(施策等)においては、年間を通して評価を行っております。そのため、業績予想は通期業績予想値のみを開示いたしました。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	616,400 株	24年3月期	616,400 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	14 株	24年3月期	14 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	616,386 株	24年3月期1Q	616,386 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等により企業収益や個人消費に一部持ち直しの動きが見られましたが、欧州債務危機問題の深刻化を背景とした世界経済の減速懸念や長期化する円高と株価低迷の影響等から、国内景気は依然として先行き不透明感が強い状況で推移しました。

当社が事業を営む業界については、2010年問題、医療費抑制策の強化、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などに直面した状況にあり、またジェネリック医薬品の普及・拡大、長期収載品の価格の大幅な引き下げなどにより、経営環境は継続して厳しい状況にあります。

このような環境下、当社のセグメント別の売上高は以下のとおりとなりました。

・研究用関連事業

平成24年1月30日に締結しましたタカラバイオ株式会社との販売契約を経て、国内での研究用試薬の販売につきましては、平成24年5月1日より、独占販売となりました。また、海外の販売につきましてもタカラバイオ株式会社との連携を強化しております。

当第1四半期累計期間においての売上高は、自社独自の抗体製品及び測定キットにつきましては、順調に推移し前年同期を上回り、売上に貢献しております。一方、当社が創業より顧客毎のニーズに応え、製造・販売を行ってきた受託サービスの売上ににつきましては、契約関係や顧客要求事項の引継ぎを順次完了しており、新規の受注活動も積極的に開始されております。

また、タカラバイオ株式会社の海外子会社への販売につきましては、現在移行準備段階であり、本格的な販売活動は、第3四半期以降になる見込みであります。その結果、研究用関連事業の売上高は、159,958千円（前年同期比1.1%増）となりました。

・医薬用関連事業

体外診断用医薬品の販売において、ヒト体外診断用医薬品のタゴシッドTDMキットの販売が堅調に推移しましたが、自社製造の牛海綿状脳症に対する動物用体外診断用医薬品の販売予定が第2四半期以降であり、売上高は、28,658千円（同27.5%減）となりました。

・その他

遺伝子組換えカイコによるカイコの繭中に目的タンパク質を産生する生産技術により、自社抗体製品・動物用治療薬の原料およびヒトコラーゲン配合化粧品原料の開発・生産・販売を行っております。なお、当第1四半期累計期間においての売上高は、6,540千円となりました。

また、当第1四半期累計期間における製造原価、販売費及び一般管理費につきましては、引き続き経費削減に努め、事業環境の変化に対応すべく効率の良い業務体制を強化してまいります。

これらの結果、売上高は195,157千円（前年同期比1.3%減）、営業損失は11,771千円（前年同期は36,467千円の営業損失）となりました。また、当第1四半期累計期間において、販売契約金の収入を計上し、経常利益は57,357千円（前年同期は35,491千円の経常損失）、四半期純利益は51,152千円（前年同期は45,109千円の四半期純損失）となり、黒字を達成しております。

(参考) セグメント別売上高

単位：千円

セグメント	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間	増減
研究用関連事業	158,188	159,958	1.1%
研究用試薬関連	153,260	158,964	3.7%
実験動物関連	4,927	994	△79.8%
医薬用関連事業	39,519	28,658	△27.5%
契約料等	—	200	—
体外診断用医薬品販売	39,519	28,458	△28.0%
その他	—	6,540	—
合計	197,707	195,157	△1.3%

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産の変動について)

当第1四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末比1.1%増の2,315,427千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

増加要因としましては、四半期純利益を計上したこと及び売上債権の回収が進んだこと等による「現金及び預金」の残高が98,316千円増加したこと等の要因があります。一方、減少要因としましては、売上が前四半期である前事業年度第4四半期会計期間の売上と比較して当第1四半期会計期間の売上が減少していること等により「受取手形及び売掛金」が57,739千円減少していること及び減価償却等により有形固定資産が13,799千円、無形固定資産が5,041千円それぞれ減少していること等であります。

(負債の変動について)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末比13.0%減の170,907千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

前事業年度第4四半期会計期間と比較して当第1四半期会計期間の商品仕入額が減少したこと等により「支払手形及び買掛金」が11,802千円減少したこと、長期借入金の返済により「長期借入金」（「1年内返済予定の長期借入金」を含む）が7,850千円減少したこと等によるものであります。

(純資産の変動について)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末比2.5%増の2,144,519千円となりました。これは主に四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期累計期間の営業損失、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	444,050	542,367
受取手形及び売掛金	272,871	215,131
商品及び製品	64,826	67,588
仕掛品	122,156	123,249
原材料及び貯蔵品	64,741	65,410
その他	6,526	5,656
流動資産合計	975,173	1,019,404
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	563,262	556,007
土地	362,687	362,687
その他(純額)	86,297	79,753
有形固定資産合計	1,012,247	998,448
無形固定資産	60,858	55,817
投資その他の資産		
投資有価証券	187,068	187,467
その他	53,989	54,289
投資その他の資産合計	241,058	241,757
固定資産合計	1,314,164	1,296,022
資産合計	2,289,338	2,315,427
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,235	8,433
1年内返済予定の長期借入金	31,400	31,400
未払法人税等	5,277	7,376
賞与引当金	12,448	6,397
その他	71,517	69,601
流動負債合計	140,878	123,208
固定負債		
長期借入金	54,600	46,750
退職給付引当金	798	949
その他	92	—
固定負債合計	55,491	47,699
負債合計	196,369	170,907

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571,810	1,571,810
資本剰余金	491,753	491,753
利益剰余金	42,828	93,980
自己株式	△16	△16
株主資本合計	2,106,375	2,157,528
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13,406	△13,008
評価・換算差額等合計	△13,406	△13,008
純資産合計	2,092,968	2,144,519
負債純資産合計	2,289,338	2,315,427

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	197,707	195,157
売上原価	79,699	84,722
売上総利益	118,008	110,435
販売費及び一般管理費	154,475	122,206
営業損失(△)	△36,467	△11,771
営業外収益		
受取利息	116	28
販売契約一時金	—	70,000
その他	1,692	1,736
営業外収益合計	1,808	71,765
営業外費用		
支払利息	456	325
為替差損	221	2,178
その他	154	132
営業外費用合計	832	2,636
経常利益又は経常損失(△)	△35,491	57,357
特別損失		
減損損失	9,151	—
固定資産除却損	—	408
特別損失合計	9,151	408
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△44,643	56,949
法人税、住民税及び事業税	466	5,796
法人税等合計	466	5,796
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△45,109	51,152

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。